

2. 養護教諭一種免許状 養護教諭養成コース

(1) 養護教諭とは

養護教諭とは学校教育の現場で保健管理、保健教育を担当する専門知識を備えた教員です。一般には「保健室の先生」と言われています。主に保健室に常駐し、医療・看護・保健衛生などの幅広い知識により、けがや病気の応急処置、健康診断と保健指導を行います。

最近では病気や怪我などの身体上の問題を持つ児童・生徒ばかりでなく、学業や友人関係、進学、家庭の悩みなどを抱えて保健室を訪れる児童・生徒が増えており、身体の面だけではなく、こころの面からのサポートが求められています。社会的にも、子どもの発育・発達や、こころと体の健康問題への関心が高まるなか、教育現場での健康の専門家である養護教諭への期待がこれまで以上に大きくなっています。

これからの養護教諭には、児童・生徒をしっかりと受け止め、励まし導いていくための人間理解に基づく豊かな人間性が求められています。

(2) 養護教諭養成コースについて

- ・ 本学の養護教諭養成コースに登録し、所定の科目を全て修得して卒業すると、養護教諭一種免許状の取得申請が可能です。養護教諭養成コースへの登録は、正科生の希望者のみ可能です。1回みの登録で、毎年登録する必要はありません。
- ・ 通常の学費以外に、登録料（募集要項参照）が必要です。一旦登録された後の返金はできません。
- ・ 「看護実習」は、各自で受け入れ病院を確保していただき、4日間の実習を行います。詳細は、実習前に受講する事前指導スクーリングの際などに説明いたします。
- ・ 「養護実習（教育実習）」は、学生各自で小学校・中学校のいずれかを実習先として探し、現職の先生の指導の下、20日間（160時間）の教育実習を行います。なお、養護実習生の受け入れにあたり、一定の条件（申込期間、手続方法等）が定められた地域・学校があるため、早い時期に受け入れ条件・状況等を各自で把握し、実習校の確保に努める必要があります。詳細は、実習前に受講する事前指導スクーリングの際などに説明いたします。
- ・ 免許状申請において、正科生で3月卒業見込みの方、本学で所定の科目を全て修得された方については、本学で行う埼玉県への一括申請が可能です。9月卒業生や科目等履修生、他大学での修得単位を合算して申請される方等は個人申請となります。申請する教育委員会へ必ずお問い合わせください。
- ・ 卒業までに養護教諭免許状取得要件を満たせなかった場合、卒業後に科目等履修生として登録し、不足科目を修得することにより、養護教諭免許状を取得することも可能です。その場合、科目等履修生としての登録料、登録する単位に応じた授業料、各科目のテキスト代が必要となります。実習科目の履修方法に鑑みて、有効期間は1年間です（通常は半年）。「看護実習」「養護実習Ⅰ」「養護実習Ⅱ」「教職実践演習」「体育Ⅲ」「体育Ⅳ」は、養護教諭養成コースに登録していないと履修することはできません。科目等履修生で養護教諭養成コースに登録できるのは、本学正科生の卒業生のみです。

(3) 養護教諭免許状取得までの流れ

- STep 1 入学時・在学中に養護教諭養成コースに登録
- STep 2 【養護に関する科目】33単位、【教職基礎科目】8単位、【教職に関する科目】23単位をそれぞれ履修（2019年度から【教職に関する科目】25単位）。詳細は、「養護教諭免許状取得要件一覧表」をご覧ください。
- STep 3 病院での看護実習（4日間）と小中学校での養護実習（教育実習）（20日間）を実施。
- STep 4 都道府県等教育委員会に免許申請。条件を満たせば、本学で行う埼玉県への一括申請も可能。
- STep 5 免許状取得要件を満たせば、養護教諭1種免許状取得。

(4) 【2019 年度入学生から】養護教諭免許状取得要件一覧表

本コースでは、次のとおり、「①養護に関する科目」から 33 単位以上、「②教職基礎科目（教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目）」から 8 単位以上、「③教職に関する科目」から 25 単位、合計で 66 単位以上を修得する必要があります。その他、卒業に必要な単位の修得も必要です。

尚、以下の表は、T はテキスト履修、S は会場スクーリング履修、N はインターネット授業履修を表します。
赤文字の科目は、学校での教育実習実施までに単位の修得が必要な科目です。

【①養護に関する科目】・・・33 単位以上必要

省令科目	本学で開講する科目名	必修単位数	選択または選択必修単位数	必要単位数	科目履修時の注意事項
衛生学及び公衆衛生学(予防医学を含む)	健康科学論	T2 と N2		6	「健康科学論」は T と N で合計 4 単位取得すること
	保健学	T2			
学校保健	学校保健	T2		2	
養護概説	養護概説	T2		2	
健康相談活動の理論・健康相談活動の方法	健康相談活動	T2		2	
栄養学(食品学を含む)	栄養と代謝		T2	2	「予防栄養学」は N か S で 1 単位取得可能
	栄養と代謝		N1		
	予防栄養学 T	T2			
	予防栄養学 S		N1 または S1		
解剖学・生理学	身体の構造と機能	T2		4	「身体の構造と機能(T)」は必修 「身体の構造と機能(N/S)」は N か S で 2 単位取得
	身体の構造と機能	N2 または S2			
	自律神経生理学 T		T2		
	自律神経生理学 S		N1		
	運動生理学 T		T2		
	運動生理学 S		N1		
微生物学、免疫学、薬理概論	免疫学(アレルギー)S		S1	2	「免疫学(アレルギー)T」と「臨床薬学 T」のどちらか 1 科目選択必修
	免疫学(アレルギー)T		T2		
	臨床薬学		T2		
精神保健	精神保健	T2		2	
看護学(臨床実習及び救急処置を含む)	看護学概論	T4		11	事前指導・事後指導の各スクーリングを含みます。3 年次以降でなければ履修できません。看護師免許を取得していない学生は、看護実習における病院実習前に「看護学概論」と「人間科学」を修得しておくか、科目修了試験に合格しておいてください。
	成人看護学	T2			
	精神看護	T4			
	看護実習	S1			

【②教職基礎科目（教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目）】・・・8 単位以上

省令科目	本学で開講する科目名	必修 単位数	選択 単位数	必要 単位数	科目履修時の注意事項
日本国憲法	法学(日本国憲法)(T)	T2		2	
体育	体育 I		T1	2	「体育 I」「体育 II」「体育 IV」から 1 科目 (1 単位)選択必修。
	体育 II		T1		
	体育 III	S1			
	体育 IV		S1		
外国語コミュニケーション	英語～速読演習～(T)	T2		2	
情報機器の操作	情報処理演習(S)	S2		2	

【③教職に関する科目】・・・25 単位必要

省令科目	本学で開講する科目名	必修 単位数	選択 単位数	必要 単位数	科目履修時の注 意事項
<ul style="list-style-type: none"> ・教育の理念並びに教育に関する歴史および思想 ・教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。) ・教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。) ・幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程 ・特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解 ・教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。) 	教育学概論	T2		8	2019 年度から必修
	教職概論	T2			
	教育心理学(学習と発達)	T2			
	特別支援教育	T1			
	教育課程論	T1			
	道徳教育指導論	T2			
<ul style="list-style-type: none"> ・道徳、総合的な学習の時間及び特別活動に関する内容 ・教育の方法及び技術(情報機器及び教材の活用を含む。) ・生徒指導の理論及び方法 ・教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法 	総合的な学習の時間の指導法	T1		10	2019 年度から必修
	特別活動論	T1			
	教育方法論	T1			
	生徒指導論	T2			
	教育相談	T1			
	カウンセリング論 T	T2			

養護実習 事前指導	養護実習 I (事前指導)	S1			3年次以降でなければ履修できません。
養護実習及び事後の指導	養護実習 II (事後指導)	S4		7	4年次に小中学校等現場での『養護実習(教育実習)』を行い、その後に事後指導スクーリングを受講します。原則として、赤字の科目の単位を全て修得しておかないと『養護実習(教育実習)』を実施できません。
教職実践演習	教職実践演習(養護教諭)	S2			4年次の『養護実習(教育実習)』後でなければ受講できません。

(5) 【2018年度入学生まで】養護教諭免許状取得要件一覧表

本コースでは、次のとおり、「①養護に関する科目」から33単位以上、「②教職基礎科目（教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目）」から8単位以上、「③教職に関する科目」から23単位、合計で64単位以上を修得する必要があります。その他、卒業に必要な単位の修得も必要です。

尚、以下の表は、Tはテキスト履修、Sはスクーリング履修を表します。

赤文字の科目は、学校での教育実習実施までに単位の修得が必要な科目です。

【①養護に関する科目】・・・33単位以上必要

省令科目	本学で開講する科目名	必修 単位数	選択または 選択必修 単位数	必要 単 位 数	科目履修時の注意事項
衛生学及び公衆衛生学(予防医学を含む)	健康科学論	T2とS2		6	「健康科学論」はTとSで合計4単位取得すること
	保健学	T2			
学校保健	学校保健	T2		2	
養護概説	養護概説	T2		2	
健康相談活動の理論および方法	健康相談活動	T2		2	
栄養学(食品学を含む)	栄養と代謝		T2またはS1	2	
	予防栄養学	T2	S1		
解剖学及び生理学	身体の構造と機能	T2とS2		4	「身体の構造と機能」はTとSで合計4単位取得すること
	自律神経生理学		T2またはS1		
	運動生理学		T2またはS1		
微生物学、免疫学、薬理概論	免疫学(アレルギー)		S1またはT2	2	「免疫学(アレルギー)」Tと「臨床薬学」のどちらか1科目選択必修
	臨床薬学		T2		
精神保健	精神保健	T2		2	
看護学(臨床実習及び救急処置を含む)	看護学概論	T4		11	事前指導・事後指導の各スクーリングを含みます。3年次以降でなければ履修できません。看護師免許を取得していない学生は、看護実習における病院実習前に「看護学概論」と「人間科学」または「人間科学概論」を修得しておくか、科目修了試験に合格しておいてください。
	成人看護学	T2			
	精神看護	T4			
	看護実習	S1			

【②教職基礎科目（教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目）】・・・8単位以上

省令科目	本学で開講する科目名	必修 単位数	選択 単位数	必要 単位数	科目履修時の注意事項
日本国憲法	法学(日本国憲法)	T2		2	
体育	体育Ⅰ		T1	2	「体育Ⅰ」「体育Ⅱ」「体育Ⅳ」から1科目 (1単位)選択必修。
	体育Ⅱ		T1		
	体育Ⅲ	S1			
	体育Ⅳ		S1		
外国語コミュニケーション	英語～速読演習	T2		2	
情報機器の操作	情報処理演習	S2		2	

【③教職に関する科目】・・・23単位必要

省令科目	本学で開講する科目名	必修 単位数	選択 単位数	必要 単位数	科目履修時の注意事項
教職の意義等に関する科目	教職概論	T2		2	
教育の基礎理論に関する科目	教育学概論	T2		4	
	教育心理学(学習と発達)	T2			
教育課程に関する科目	教育課程論	T1		5	
	教育方法論	T1			
	道徳教育指導論	T2			
	特別活動論	T1			
生徒指導及び教育相談に関する科目	生徒指導論	T2		5	
	教育相談	T1			
	カウンセリング論	T2			
養護実習	養護実習Ⅰ(事前指導)	S1		5	3年次以降でなければ履修できません。
	養護実習Ⅱ(事後指導)	S4			4年次に小中学校等現場での『養護実習(教育実習)』を行い、その後に事後指導スクーリングを受講します。原則として、赤字の科目の単位を全て修得しておかないと『養護実習(教育実習)』を実施できません。
教職実践演習	教職実践演習(養護教諭)	S2		2	4年次の『養護実習(教育実習)』後でなければ受講できません。

(6) 履修科目登録について

養護教諭養成コース登録者は、前記の養護教諭免許状取得要件一覧表の科目を修得する必要があります。各学年に履修する科目は、履修モデルなどを参考に各自で登録しますが、養護教諭養成コース登録者が各期（半年間）に履修登録できる単位数の上限は **26 単位**（通常の学生は **24 単位が上限**）ですので、「**養護実習（教育実習）**」の実施前に**単位修得が必要条件となる科目を優先して履修科目登録を行ってください**。

- ・養護教諭免許状取得要件科目は、すべて正科生の卒業要件に含めることができます。
- ・正科生の場合は所定の卒業要件と進級要件も充足するよう履修科目登録を行ってください。
- ・「**看護実習**」と「**養護実習Ⅱ**」の履修有効期間は**1年間**です。どちらも病院や学校での実習を終了し、事後指導スクーリングに参加した後に成績がつきます。
- ・履修有効期間内に単位修得できなかった場合には、翌期以降に履修科目登録が必要となります。

【他大学で修得済みの科目がある場合】

既に他の大学で修得済みの養護教諭免許状取得要件科目がある場合は、**各自で都道府県教育委員会へ確認**（単位を修得した大学に「学力に関する証明書」を発行してもらった上でご相談）して、不足する単位を調べた上で、不足科目を選択して履修科目登録を行ってください

(7) スクーリングの出席と実習実施の流れ

「看護実習」「養護実習Ⅰ」「養護実習Ⅱ」「教職実践演習」「体育Ⅲ」「体育Ⅳ」の6科目については、養護教諭養成コースに登録した方のみ履修可能です。スクーリングの日程については『日程等について』を確認してください。

学年	スクーリングの出席と実習実施の流れ	注意事項
3年	「看護実習」事前指導スクーリング出席 「養護実習事Ⅰ」(事前指導)スクーリング出席 ↓ 看護実習実施(病院にて) ↓ 「看護実習」事後指導スクーリング出席	看護実習については、自身で受入病院を確保していただき、4日間(1単位分)の実習を行ってください。 尚、「看護実習」は通年科目です。事前指導に出席しただけでは単位が修得できません。 「養護実習Ⅰ」(事前指導スクーリング)は UHAS @My キャンパスの「ネット授業」を必ず受講のうえ3年次に出席してください。 自身で小学校、中学校等の実習先を探してください。教育実習までに 必要な単位 (「養護教諭免許状取得要件一覧表」に記載の赤文字の科目)を修得してください。 尚、「看護実習(事前指導)」と「養護実習Ⅰ」は連続で出席することが可能です。 『日程等について』で日程を御確認ください。
4年	養護実習(教育実習)実施(学校にて) ↓ 「養護実習Ⅱ」(事後指導)スクーリング出席 「教職実践演習」スクーリング出席	4年次に実習校での『養護実習(教育実習)』を20日間(160時間)行ってください。 「養護実習Ⅱ」(事後指導)「教職実践演習」は『養護実習(教育実習)』終了後に受講します。 尚、「養護実習Ⅱ」と「教職実践演習」は連続で出席することが可能です。 『日程等について』で日程を御確認ください。

(8) 【2019 年度入学生から】養護教諭養成コース履修モデル

履修モデルを参考に履修科目登録を行って下さい。所定の進級要件と卒業要件も充足するように学修計画を立て、バランス良く履修してください。特にコア科目の10単位の修得は4年次進級の際に必要なのでご注意ください。赤文字の科目は、学校での『養護実習（教育実習）』を行うまでに修得してください。履修登録は半期26単位が上限ですが、「大学入門ゼミ」「総合演習の科目」は上限に含みません。

▼履修モデル 正科生(3年次編入学)の場合 (履修科目登録の一例です。)

学年	時期	分野	科目名	T	N/S	合計
3年	前期	基礎科目	大学入門ゼミ(N)		1	27
		コア科目	ヒューマンⅠ(N)		1	
		コア科目	ヒューマンⅡ(N)		1	
		コア科目	ヒューマンⅢ(N)		1	
		コア科目	ヒューマンⅤ(T)	2		
		コア科目	心身健康科学Ⅰ(N)		1	
		コア科目	心身健康科学Ⅱ(T)	2		
		コア科目	心身健康科学Ⅲ(T)	2		
		統合Ⅰ(「心ころ」と「からだ」のつながり)	人間科学(T)	2		
		統合Ⅰ(「心ころ」と「からだ」のつながり)	人間科学(N)		2	
		統合Ⅰ(「心ころ」と「からだ」のつながり)	行動科学(T)	2		
		統合Ⅰ(「心ころ」と「からだ」のつながり)	行動科学(N)		2	
		統合Ⅱ(「生命と健康」のシステム)	看護学概論(T)	4		
		教職課程科目	教職概論	2		
	教職課程科目	看護実習(通年科目 履修期間1年)		1		
	教職課程科目	養護実習Ⅰ		1		
	後期	統合Ⅰ(「心ころ」と「からだ」のつながり)	カウンセリング論(T)	2		
		統合Ⅰ(「心ころ」と「からだ」のつながり)	教育心理学(学習と発達)(T)	2		
		統合Ⅱ(「生命と健康」のシステム)	身体の構造と機能(T)	2		
		統合Ⅱ(「生命と健康」のシステム)	身体の構造と機能(N)		2	
		統合Ⅲ(「文化・社会」の継承)	教育学概論(T)	2		
		教職課程科目	養護概説	2		
		教職課程科目	教育課程論	1		
		教職課程科目	教育方法論	1		
		教職課程科目	道徳教育指導論	2		
		教職課程科目	特別活動論	1		
教職課程科目		学校保健	2			
教職課程科目		生徒指導論	2			
教職課程科目	健康相談活動	2				
教職課程科目	教育相談	1				
教職課程科目	特別支援教育	1				
教職課程科目	総合的な学習の時間の指導法	1				
4年	前期	基礎科目	情報処理演習(S)		2	28
		基礎科目	英語～速読演習～(T)	2		
		統合Ⅰ(「心ころ」と「からだ」のつながり)	精神保健(T)	2		
		統合Ⅰ(「心ころ」と「からだ」のつながり)	精神看護(T)	4		
		統合Ⅱ(「生命と健康」のシステム)	健康科学論(T)	2		
		統合Ⅱ(「生命と健康」のシステム)	健康科学論(N)		2	
		統合Ⅲ(「文化・社会」の継承)	法学(日本国憲法)(T)	2		
		統合Ⅳ(「人間の未来学」)	生命倫理学(T)	2		
		教職課程科目	体育Ⅰ	1		
		教職課程科目	体育Ⅲ		1	
	教職課程科目	養護実習Ⅱ(通年科目 履修期間1年)		4		
	総合演習	人間総合科学の探究Ⅰまたは理解Ⅰ	4			
	後期	統合Ⅱ(「生命と健康」のシステム)	生命科学(T)	2		
		統合Ⅱ(「生命と健康」のシステム)	生命科学(N)		2	
		統合Ⅱ(「生命と健康」のシステム)	成人看護学(T)	2		
		統合Ⅱ(「生命と健康」のシステム)	免疫学(アレルギー)(T)	2		
		統合Ⅱ(「生命と健康」のシステム)	臨床薬学(T)	2		
		統合Ⅱ(「生命と健康」のシステム)	予防栄養学(T)	2		
		統合Ⅱ(「生命と健康」のシステム)	栄養と代謝(T)	2		
		統合Ⅱ(「生命と健康」のシステム)	栄養と代謝(N)		1	
統合Ⅱ(「生命と健康」のシステム)		保健学(T)	2			
統合Ⅲ(「文化・社会」の継承)		文明科学(T)	2			
統合Ⅲ(「文化・社会」の継承)	文明科学(N)		2			
教職課程科目	教職実践演習		2			
総合演習	人間総合科学の探究Ⅱまたは理解Ⅱ		4			
合計				75	33	108

▼履修モデル 正科生(1年次入学)の場合 (履修科目登録の一例です。半期の履修単位上限 26 単位に余裕がある時期もありますので、他の科目も履修登録してください。)

学年	時期	分野	科目名	T	N/S	合計			
1年	前期	基礎科目	大学入門ゼミ(N)		1	27			
		コア科目	ヒューマンⅠ(N)		1				
		コア科目	ヒューマンⅡ(N)		1				
		コア科目	ヒューマンⅢ(N)		1				
		コア科目	ヒューマンⅤ(T)	2					
		コア科目	心身健康科学Ⅰ(N)		1				
		コア科目	心身健康科学Ⅱ(T)	2					
		コア科目	心身健康科学Ⅲ(T)	2					
		統合Ⅰ(「こころ」と「からだ」のつながり)	人間科学(T)	2					
		統合Ⅰ(「こころ」と「からだ」のつながり)	人間科学(N)		2				
		統合Ⅰ(「こころ」と「からだ」のつながり)	行動科学(T)	2					
		統合Ⅰ(「こころ」と「からだ」のつながり)	行動科学(N)		2				
		統合Ⅱ(「生命と健康」のシステム)	生命科学(T)	2					
		統合Ⅱ(「生命と健康」のシステム)	生命科学(N)		2				
		統合Ⅲ(「文化・社会」の継承)	教育学概論(T)	2					
		教職課程科目	教職概論	2					
		1年	後期	基礎科目	情報処理演習(S)			2	25
基礎科目	英語(T)			2					
統合Ⅰ(「こころ」と「からだ」のつながり)	教育心理学(学習と発達)(T)			2					
統合Ⅲ(「文化・社会」の継承)	法学(日本国憲法)(T)			2					
統合Ⅱ(「生命と健康」のシステム)	身体の構造と機能(T)			2					
統合Ⅱ(「生命と健康」のシステム)	身体の構造と機能(N)				2				
統合Ⅱ(「生命と健康」のシステム)	看護学概論(T)			4					
教職課程科目	養護概説			2					
教職課程科目	体育Ⅰ			1					
教職課程科目	体育Ⅲ				1				
教職課程科目	教育課程論			1					
教職課程科目	教育方法論			1					
教職課程科目	道徳教育指導論			2					
教職課程科目	特別活動論	1							
2年	前期	統合Ⅰ(「こころ」と「からだ」のつながり)	人間関係論(T)	2		23			
		統合Ⅰ(「こころ」と「からだ」のつながり)	人間関係論(N)		2				
		統合Ⅰ(「こころ」と「からだ」のつながり)	カウンセリング論(T)	2					
		統合Ⅱ(「生命と健康」のシステム)	健康科学論(T)	2					
		統合Ⅱ(「生命と健康」のシステム)	健康科学論(N)		2				
		統合Ⅱ(「生命と健康」のシステム)	予防栄養学(T)	2					
		統合Ⅱ(「生命と健康」のシステム)	予防栄養学(N)		2				
		統合Ⅲ(「文化・社会」の継承)	文明科学(T)	2					
		統合Ⅲ(「文化・社会」の継承)	文明科学(N)		2				
		教職課程科目	学校保健	2					
		教職課程科目	生徒指導論	2					
		教職課程科目	教育相談	1					
		2年	後期	統合Ⅰ(「こころ」と「からだ」のつながり)	青年期心理学(N)			1	20
統合Ⅱ(「生命と健康」のシステム)	保健学(T)			2					
統合Ⅱ(「生命と健康」のシステム)	栄養と代謝(T)			2					
統合Ⅱ(「生命と健康」のシステム)	栄養と代謝(N)				1				
統合Ⅱ(「生命と健康」のシステム)	自律神経生理学(T)			2					
統合Ⅱ(「生命と健康」のシステム)	自律神経生理学(N)				1				
統合Ⅲ(「文化・社会」の継承)	食べもの学(T)			4					
統合Ⅲ(「文化・社会」の継承)	食べもの学(N)				1				
統合Ⅳ(「人間の未来学」)	生命倫理学(T)			2					
教職課程科目	特別支援教育			1					
教職課程科目	総合的な学習の時間の指導法			1					
教職課程科目	健康相談活動			2					
3年	前期			基礎科目	論文の書き方(N)		1	21	
		統合Ⅰ(「こころ」と「からだ」のつながり)	精神保健(T)	2					
		統合Ⅰ(「こころ」と「からだ」のつながり)	精神看護(T)	4					
		統合Ⅱ(「生命と健康」のシステム)	心身医学(T)	2					
		統合Ⅱ(「生命と健康」のシステム)	心身医学(N)		1				
		統合Ⅱ(「生命と健康」のシステム)	成人看護学(T)	2					
		統合Ⅱ(「生命と健康」のシステム)	運動生理学(T)	2					
		統合Ⅱ(「生命と健康」のシステム)	運動生理学(N)		1				
		統合Ⅲ(「文化・社会」の継承)	地域の福祉(T)	4					
		教職課程科目	看護実習(通年科目 履修期間1年)		1				
		教職課程科目	養護実習Ⅰ		1				
		3年	後期	統合Ⅱ(「生命と健康」のシステム)	臨床薬学(T)	2			4
				統合Ⅱ(「生命と健康」のシステム)	免疫学(アレルギー)(T)	2			
4年	前期	教職課程科目	養護実習Ⅱ(通年科目 履修期間1年)		4	8			
	総合演習	人間総合科学の探究Ⅰまたは理解Ⅰ	4						
4年	後期	教職課程科目	教職実践演習		2	6			
		総合演習	人間総合科学の探究Ⅱまたは理解Ⅱ	4					
合計				91	43	134			

(9) 【2018年度入学生まで】養護教諭養成コース履修モデル

履修モデルを参考に履修科目登録を行って下さい。所定の進級要件と卒業要件も充足するように学修計画を立て、バランス良く履修してください。特にコア科目の18単位の修得（「心身健康科学概論S」を除く）は4年次進級の際に必要ですのでご注意ください。赤文字の科目は、学校での『養護実習（教育実習）』を行うまでに修得してください。履修登録は半期26単位が上限ですが、「大学入門ゼミ」「総合演習の科目」は上限に含まれません。

▼履修モデル 正科生(3年次編入学)の場合 (履修科目登録の一例です。)

学年	時期	分野	科目名	T	S	合計
3年	前期	基礎科目	大学入門ゼミ		1	27
		コア科目	人間科学 または 人間科学概論	2	2	
		コア科目	行動科学 または 行動科学概論	2	2	
		コア科目	生命科学 または 生命科学概論	2	2	
		コア科目	文明科学 または 文明科学概論	2	2	
		コア科目	心身健康科学Ⅱ(T) または 心身健康科学概論	2		
		からだ・保健の理解	看護学概論	4		
		教職課程科目	教職概論	2		
		教職課程科目	看護実習(通年科目 履修期間1年)		1	
		教職課程科目	養護実習Ⅰ		1	
	後期	こころ・精神の理解	カウンセリング論	2		24
		こころ・精神の理解	教育心理学(学習と発達)	2		
		文化・社会の理解	教育学概論	2		
		からだ・保健の理解	身体の構造と機能	2	2	
		からだ・保健の理解	養護概説	2		
		教職課程科目	教育課程論	1		
		教職課程科目	教育方法論	1		
		教職課程科目	道徳教育指導論	2		
		教職課程科目	特別活動論	1		
		教職課程科目	学校保健	2		
		教職課程科目	生徒指導論	2		
		教職課程科目	健康相談活動	2		
		教職課程科目	教育相談	1		
		4年	前期	基礎科目	情報処理演習	
基礎科目	英語～速読演習			2		
統合科目	健康科学論			2	2	
統合科目	生命倫理学			2		
こころ・精神の理解	精神保健			2		
こころ・精神の理解	精神看護			4		
からだ・保健の理解	予防栄養学Sまたは栄養と代謝S				1	
からだ・保健の理解	体育Ⅰまたは体育Ⅱ			1		
文化・社会の理解	法学(日本国憲法)			2		
教職課程科目	体育Ⅲ				1	
教職課程科目	養護実習Ⅱ(通年科目 履修期間1年)				4	
総合演習	人間総合科学の探究Ⅰまたは理解Ⅰ			4		
後期	からだ・保健の理解		自律神経生理学Sまたは運動生理学S	2		23
	からだ・保健の理解		自律神経生理学Tまたは運動生理学T		1	
	からだ・保健の理解		成人看護学	2		
	からだ・保健の理解		臨床薬学	2		
	からだ・保健の理解		予防栄養学T	2		
	からだ・保健の理解		栄養と代謝T	2		
	からだ・保健の理解		保健学	2		
	からだ・保健の理解		免疫学(アレルギー)	2		
	教職課程科目		教職実践演習		2	
	教職課程科目		特別支援教育	1		
	教職課程科目		総合的な学習の時間の指導法	1		
	総合演習		人間総合科学の探究Ⅱまたは理解Ⅱ		4	
合計				73	30	103

▼履修モデル 正科生(1年次入学)の場合 (履修科目登録の一例です。半期の履修単位上限26単位に余裕があ

る時期もありますので、他の科目も履修登録してください。)

学年	時期	分野	科目名	T	S		
1年	前期	基礎科目	大学入門ゼミ		1	25	
		コア科目	人間科学 または 人間科学概論	2	2		
		コア科目	行動科学 または 行動科学概論	2	2		
		コア科目	生命科学 または 生命科学概論	2	2		
		コア科目	文明科学 または 文明科学概論	2	2		
			こころ・精神の理解	教育心理学(学習と発達)	2		
			文化・社会の理解	法学(日本国憲法)	2		
			文化・社会の理解	教育学概論	2		
		教職課程科目	教職概論	2			
	後期	基礎科目	情報処理演習		2	21	
		基礎科目	英語～速読演習	2			
		からだ・保健の理解	身体の構造と機能	2	2		
		からだ・保健の理解	看護学概論	4			
		からだ・保健の理解	養護概説	2			
からだ・保健の理解		体育Ⅰまたは体育Ⅱ	1				
教職課程科目		体育Ⅲ		1			
教職課程科目		教育課程論	1				
2年	前期	統合科目	健康科学論	2	2	18	
		こころ・精神の理解	青年期心理学		1		
		こころ・精神の理解	人間関係論	2	2		
		こころ・精神の理解	カウンセリング論	2			
		からだ・保健の理解	予防栄養学T	2			
		教職課程科目	学校保健	2			
		教職課程科目	生徒指導論	2			
		教職課程科目	教育相談	1			
後期	統合科目	生命倫理学	2		18		
	からだ・保健の理解	保健学	2				
	からだ・保健の理解	栄養と代謝	2	1			
	からだ・保健の理解	予防栄養学S		1			
	からだ・保健の理解	自律神経生理学	2	1			
	文化・社会の理解	食べもの学	4	1			
	教職課程科目	健康相談活動	2				
	3年	前期	基礎科目	論文の書き方			1
コア科目			心身健康科学Ⅱ(T) または 心身健康科学概論(T)	2			
統合科目			心身医学	2	1		
こころ・精神の理解			精神保健	2			
こころ・精神の理解			精神看護	4			
からだ・保健の理解			成人看護学	2			
からだ・保健の理解			運動生理学	2	1		
文化・社会の理解			地域の福祉	4			
教職課程科目		看護実習(通年科目 履修期間1年)		1			
教職課程科目		養護実習Ⅰ		1			
後期		からだ・保健の理解	臨床薬学	2		4	
		からだ・保健の理解	免疫学(アレルギー)	2			
4年	前期	教職課程科目	養護実習Ⅱ(通年科目 履修期間1年)		4	10	
		教職課程科目	特別支援教育	1			
		教職課程科目	総合的な学習の時間の指導法	1			
		総合演習	人間総合科学の探究Ⅰまたは理解Ⅰ	4			
	後期	教職課程科目	教職実践演習		2	6	
		総合演習	人間総合科学の探究Ⅱまたは理解Ⅱ		4		
合計				87	38	125	

(10) 在学生の養護教諭養成コース登録方法

コース登録は正科生として在学中の1回のみです。3年次編入学生が、途中でのコース登録をする場合には、卒業（修業年限）までに必要科目を全て修得することはできません。

入学後に登録する場合、養護教諭養成コース追加登録希望の旨を、事務局 養護教諭養成コース担当までご連絡ください。

『UHAS@My キャンパス』より「養護教諭養成コース登録書（様式19）」および「履修科目登録申請票」をダウンロードして、必要事項を記入し事務局へ提出してください。

登録書提出後10日程度で、登録料（募集要項参照）の振込用紙を送付しますので、所定の期日までに振り込んでください。